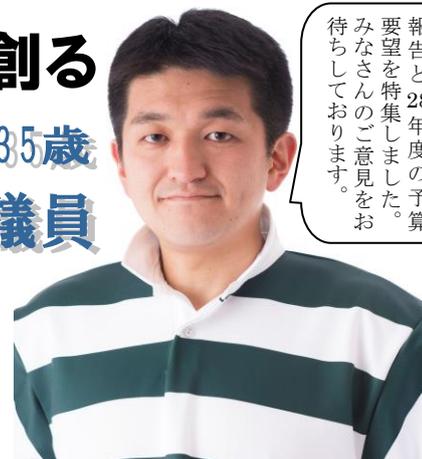


42号は27年度の視察報告と28年度の予算要望を特集しました。みなさんのご意見をお待ちしております。

# 豊中らしさを創る

無所属 35歳

豊中市議会議員



# 温故創新

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

まつおかあきみち

## 松岡信道と、もっと豊中市！



市民のみなさんとスクラム、旧態依然としたしがらみにタックル、温故創新でトライ！を合言葉にゴールへ向かって走ります。

### 食べ残しゼロ、おいしい給食

27年11月16〜17日で、足立区、練馬区、江戸川区を視察しました。豊中市では一泊二日の場合、2都市の視察を標準としています。移動時間を節約して、3都市で学びました。

#### 東京都足立区

豊中市の学校給食は、給食センターで作られています。しかし、人口減少社会の次の世代を考えて、自校調理方式を視察し、給食とその他の施策体系について学びました。

足立区では、「自然の恵みや生産者、調理員等、給食に関わる人々への感謝の気持ちを育む」ことを理念として、給食を中心とした施策が展開されています。例えば、宿泊行事を組んで、稲作を体験するとともに、生産者との交流を行っていきます。また、地産地消のために地元野菜を給食食材とするほか、日本の食文化を学ぶため、レシピを作成する給食メニューコンクールを実施しています。プロの料理人がレシピから考えて、子どもたちと一緒に食べたりもします。こうした取り組みにより、足立区の給食はレシピ本としても販売されるまでになりました。

センター方式ではあっても見習うべき取り組みが多くあり、たいへん勉強になりました。ハード面は将来の課題として、ソフト面から進めたいです。

### 予防接種サポートシステム

#### 東京都練馬区

子どもの予防接種は、それぞれのワクチンにより、対象年齢、接種間隔、助成制度などが異なるため、たいへん複雑になっています。そのため、接種忘れになってしまう場合もあり、子どものために取り組む必要があります。

練馬区では定期予防接種対象が15疾病で任意接種助成事業が5種あります。このスケジュールをスマートフォンアプリで独自開発し、サポートシステムを構築しています。問い合わせが多い接種票の紛失など、区民の立場になって開発されたため、スマートフォンから接種票の再発行が申請できます。また、高齢者用の肺炎球菌ワクチンの接種にも対応しており、ガラケーやパソコンから利用できます。

利用者は年々増加し、市民から市役所への問い合わせが激減したため、電話回線を5本から3本に減らし、約400万円の経費削減と業務改善になったそうです。驚いたことは、初期費用は約300万円、運用経費は約1.6百万円程度で、費用対効果も大きいという点です。

練馬区（71万人）と豊中市（40万人）の人口規模における導入効果や、契約上の諸課題があるものの、子育て支援策の一環として必要であると考え、28年度の予算要望事項にしました。

### トレーラーハウス有効活用

#### 東京都江戸川区

トレーラーハウスは、家と変わらない耐久性をもち、いつでも移動することができるところから、建築ができない場所での利用が進んでいます。海外では、災害時に転用して避難所や仮設住宅とするケースもあります。

東京都江戸川区では河川敷に大規模な公園を設置しましたが、河川法の制限により公園事務所等が建築できないことから、トレーラーハウスを利用しています。売店などもあり、公園の長時間利用にも役立っています。視察はできませんでしたが、長野県千曲市では、増築できない既存施設に併設する形でトレーラーハウスを病児保育施設として利用しているそうです。

豊中市においても、建築が難しい場所までトレーラーハウスを利用することで、市域面積36.6km<sup>2</sup>を有効活用することができそうです。また、公共施設を増築するよりも、トレーラーハウスで代用するほうが安価である場合には、災害時の転用を踏まえて検討の価値があると感じました。



車輪が付いたまま設置されている。

メールマガジンを発行しています。ご希望の方は office@matsuoka-akimichi.net までお知らせください。

# 子どもを救済するために

## 兵庫県川西市

11月2日に川西市の「子どもの人権オンブズパーソン条例」とその取り組みを学ぶため、視察を行いました。川西市は、子どもはもちろん、大人も相談できる公的第三者機関の窓口を設置しています。この機関は、親による児童虐待や育児放棄が社会問題となるなか、子どもの味方となって活動をしませす。また、親が学校の先生と信頼関係が壊れている場合や、行政が組織を守っているような対応しかしてくれないと感じる場合には、仲介役として働いてくれます。

子どもたちからの信頼も高く、小学生の8割弱、中学生の7割弱が認知しています。緊急時に相談できる場所があることは、安心感につながり、子どもたちにとって、重要なことです。一方で、①川西市にはスクールソーシャルワーカー（子どもの家庭環境による問題の解決のために働く相談員）が配置されていないこと②既存の子ども支援のための専門職（スクールカウンセラーなど）と業務が重複すること③中核市である豊中市は、より権限の大きい児童相談所（大阪府子ども家庭センター）を設置することができるところから、多角的な検討が必要であると感じました。

ブログ、mixi、twitter(matsuokaakimich)に加え、facebookでも情報発信中！みなさんのフォローをお願いします。

平成28年度の施策並びに予算要望

## 無所属の会について

豊中市の一般会計は約1500億円であり、特別会計を含めると、約3000億円になります。その編成権は市長にあるため、この分野に予算をつけてほしい」と市議会の各会派は予算要望を行います。直近の課題はもちろんです、すぐに実現できることばかりではなく、将来的な展望も含めて要望します。

### 総務委員会関係（一部抜粋）

- ◆新御堂筋線沿道のみならず、帰宅困難者の支援ルートを検討すること。具体的な帰宅困難者の支援策に取り組むこと。
- ◆救急救命士の再任用については、人材活用を図り、公共施設に配置すること。
- ◆給食による食育、食を通じた生活習慣病予防、農業祭を通じた地産地消、病院食レシピの公開など、「食」に関わる事業が行われている。本市は美食家奮山人ゆかりの地であり、音大ワインやミシランガイド掲載店もあるため、「食」を通じた庁内連携を強化し、官民一体となったブランド力強化に努めること。
- ◆中学校の修学旅行の実施については、兄弟都市の沖縄市も検討すること。
- ◆図書館の開館時間を延長し、休館日を減らすこと。
- ◆小中学校で児童会・生徒会選挙を実施し、有権者意識を向上させること。

温故創新を受け取ってください、ありがとうございます。記事のリクエストがあれば教えてください。また受け取ってくださいね。

- ◆病児病後児保育の充実に努めること。
- ◆メディアリテラシー（情報を評価・識別する能力）を養うことができる教育を実施すること。

### 環境福祉委員会関係（一部抜粋）

- ◆住宅・環境都市としてのイメージアップや良好なまちづくりを全体的に進めるため、管理が不十分な未利用空き家、空き地の市内実態を把握し、(仮称)空き家条例の制定に早急に取り組むこと。
- ◆ヒメポータル保全地域の買収をはじめ、緑地保全に取り組み、「緑の都、豊中市」を目指すこと。絶滅危惧種をはじめ、動植物の在来種を保護すること。
- ◆障害児者とその保護者の高齢化ともなう親亡き後の対策として、安心して生活ができる施設への入所要望に応えるため、施設の設定を引き続き、推進・支援すること。

### 建設水道委員会関係（一部抜粋）

- ◆曾根緑地公園をはじめ、市境にとらわれず、東西バス交通を整備すること。
- ◆放置自転車対策として、駅前固定式駐輪機を増設すること。
- ◆自衛隊跡地が売却され、都市開発がされるにあたっては、緑化率を引き上げるなどして、積極的に緑化すること。
- ◆服部天神駅周辺の再開発事業、および庄内駅周辺の整備の推進をはかること。
- ◆千里の戸建住宅地区における土地分割を防ぎ、地区計画による環境整備に努めること。

学生の方に・・・社会勉強のために市議会に来ませんか？ 議会インターンシップ、子どもと関わるボランティアも募集しています。

不在時は職員に連絡先をお伝えください。

TEL:06-6858-2525 (代表)  
FAX:06-6852-2384 (議会控室)  
Mail:office@matsuoka-akimichi.net

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1  
※せっかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。  
※市議会会派：無所属の会として編集、発行しており、お問い合わせは上記までお願いします。なお頒布にあたっては、政務活動費の一部を利用させていただきます。

### 【政務活動費について】

- 政務活動費は、議員の調査研究活動に加え、広報・広聴、要請・陳情、資料作成・購入などに使用目的が制限されています。
- 豊中市議会は議員一人当たり月額7万円(年額84万円)であり、国会議員の文書通信交通滞在費(月額100万円)や府議会議員の支給額(月額59万円)とはケタが違います。
- 月額7万円は半期ごとに会派の口座に支給されます。会派の費用を減じた金額が、各議員へ支払われます。支出基準は厳格に定められており、当たり前ですが領収書は一枚から添付します。
- 議員個人の事務所家賃や海外出張を政務活動費で支出することは法律で認められています。しかし、現在の豊中市議会は、こうした部分への支出を自粛し、事務所や姉妹都市出張は自腹です。
- 政務活動費の収支報告書は議会事務局によるチェックを受け、公文書として保管しています。開示請求によりご覧いただけます。

### 【略歴】

各常任委員会委員  
農業委員会委員  
空港問題調査特別委員会副委員長  
都市計画審議会委員  
クリーンランド議会議員など

【現在】  
2007年 初当選 (2,791票)  
2011年 2期当選 (5,457票)  
2015年 3期当選 (6,024票)  
第73代副議長

【主な兼職】  
大阪広域水道企業団議会副議長  
議会改革検討委員会副委員長  
議会報編集委員会副委員長

